

図書館の圏域サービス向上を考える研修実施要項（改訂2案） （令和7年度・試行）

目的：

各地域の図書館は、文部科学省による「図書館の設置と運営上の望ましい基準（平成24年改訂）」に則り、それぞれの状況に応じて地域への図書館サービスを展開してきた。

一方で、人口減少・少子化の深刻化、デジタル化、グローバル化の進展、大規模な災害の発生等、将来の予測が困難な時代において、自治体間の格差がますます広がり、広域連携の必要性がより一層重視されている。

こうした状況を受け、社会の要請に応じた業務・サービスの最適化が求められる中、自館のサービスの中核を担う中堅職員を対象とした研修が急務である。自ら考え、協働できる図書館職員の育成を図ることを目的として、都道府県立図書館と地域の市町村立図書館との連携を深め、圏域サービスの向上を考える研修を実施する。

テーマ：

「図書館の圏域サービス向上を考える」

実施期間（予定）：令和7年6月18日（水）午後1時から6月19日（木）午後3時まで
（「図書館司書専門講座」終了日の午後から約1日間とする）

主催：文部科学省、全国公共図書館協議会

後援：公益社団法人日本図書館協会（申請予定）

対象：全国公共図書館協議会に加盟する図書館の長が推薦する次の者

- (1) 図書館法第2条に規定する図書館のうち都道府県の設置する図書館に勤務する職員で、勤務経験が概ね7年以上で指導的・中核的な立場にある者
- (2) 市町村等の図書館に勤務する職員のうち、本研修内容に関し意欲・関心がある者

定員：50名（別途、講義のみオンラインで視聴する場合はこの限りではない）

開催形式：

- (1) 講義：会場において受講する（ただし、オンラインでの視聴も可とする）
- (2) ワークショップ：会場において受講する（運営体制の関係上、ワークショップはオンラインでは開催しない）

会場：国立社会教育研究所社会教育実践研究センター
東京都台東区上野公園12-43 電話：03-3823-0241

本件についての問い合わせ先：

県立長野図書館（館長 森いづみ、副館長 山田基幸）

電話：026-228-4939、電子メール：naganotoshokan-kikaku@pref.nagano.lg.jp

研修内容

- **講義：『総論：都道府県立図書館の使命から考える一求められる図書館像』**
講師：野末俊比古（青山学院大学教育人間科学部教授）
- **講義：『海外事例を踏まえた広域自治体図書館のありかた』**
講師：豊田恭子（東京農業大学教職・学術情報課程教授）
- **講義：『都道府県立図書館のあり方：最新動向のまとめと論点整理』**
取り扱うテーマ：
選書の方法論、資料の物流、現代の社会課題への対応（災害・感染症、社会や教育の情報化、読書バリアフリー等）、学校図書館支援・連携、地域資料のデジタル化、地域行政資料サービス、情報システムの今後のあり方、事業の構想力、職員同士の人的ネットワークの構築
講師：小林隆志（鳥取県立図書館司書主幹）
講師：森いづみ（県立長野図書館館長）
- **グループ討議と発表**
論点整理のテーマから、受講生が関心のあるテーマを選び、自館の課題を持ち寄り、グループで討議を行い、今後の方策案を発表する
ファシリテーター：野末、豊田、小林、森

スケジュール（予定）

- ・ 受講生募集開始（令和7年4月中旬）
- ・ 受講決定の連絡（令和7年4月下旬）
- ・ 研修開催（令和7年6月中旬）
- ・ 受講生からのフィードバック（令和7年7月中旬）
- ・ 試行結果の評価と報告（令和7年9月中旬）